

静岡市環境大学2019 講座報告 12日目

演題:食と農をつなぐ女性農業者に学ぶ食品ロス削減

東京家政学院大学 現代生活学部 教授 上村協子様

場所 : しずもーる沼上3F研修室

時間 : 10 : 45 ~ 12 : 00



講義のポイント

要点1 : 食品ロスに対する国の動きについて

- 食品ロス削減推進法が10月1日から施行され、自治体や事業者の責務が明らかにされた
- 農水省や厚労省が主に事業者向けに削減を求めるのに対し、消費者庁は外食時の食べきりガイドを作成するなど、消費者に呼びかける事業を行っている

要点2 : 食品ロスの現状

- 家庭・事業者あわせて600万トン以上の食品ロスを排出している日本は食品ロス大国である
- 食品ロス削減のためにはデータ分析が不可欠だが、組成調査を実施している市町村は少ない
- 自治体ごとに独自の取り組みを行っており、中にはスマホアプリを活用しているところもある

要点3 : 農業従事者に学ぶ消費の在り方

- 東日本大震災後、青森の農家の女性が被災地へ向け、千羽鶴の代わりに1000個の笹餅を送った→人のために作ってくれたものを残さずいただくという倫理観をもつことが大事 (エシカル消費)
- 食品ロス削減のためには生産者・販売者・消費者が消費に対する価値観を共有する必要がある

受講生の感想

- 食品ロスについてとても勉強になった。知らなさ過ぎた。
- スマホアプリを使う事で実際どれくらいの効果が出るのか気になる。